

# 経営改善計画

—改訂版—

平成23年度～平成27年度

平成23年3月

財団法人あいち男女共同参画財団

# 経営改善計画

## 1 はじめに

財団法人あいち男女共同参画財団（以下「財団」という。）は、平成8年4月に「財団法人あいち女性総合センター」として設立され、愛知県女性総合センター（ウィルあいち）の管理運営と各種事業を行ってきましたが、平成18年4月からウィルあいちの管理運営が指定管理者へ移行したことに伴い、名称を現在の「財団法人あいち男女共同参画財団」へ変更し、「愛知県男女共同参画推進条例」の基本理念に沿って事業を実施し、愛知県の男女共同参画推進の中心的な役割を担ってきました。

今回、平成18年6月に改訂した経営改善計画が平成22年度で計画期間を終了することから、平成27年度までの5か年を計画期間として経営改善計画を改訂しました。

これからの5年間は、新たに指定管理者の一員として情報提供事業等を行うことに加え、新公益法人への移行を行うなど、新しい局面を迎えることとなります。

財団を取り巻く状況は一層厳しいものになると予想されますが、より公益性の高い事業展開を図るとともに、一層の経営改善を行なってまいります。

### ○計画期間

平成23年度～平成27年度

### ○計画内容

経営改善方針、経営目標、具体的な方策

## 2 経営改善方針

### (1) 男女共同参画を推進する先駆的、広域的な事業を展開

セミナーやイベントを通じて県内の男女共同参画を推進する先駆的、広域的な事業を展開することで、「あいち男女共同参画プラン2011－2015」の計画の推進に貢献します。

### (2) 協働の促進、ネットワークの強化

男女共同参画の推進は、社会のあらゆる分野での柔軟な展開が求められるため、女性団体、NPO、市町村などとの協働の促進及びネットワークの強化により、広く男女共同参画の浸透を図ります。

- (3) 自主性の向上と経営の効率化  
受講料などの事業収入及び助成金を確保し、引き続き経費節減に努めるとともに、固有職員中心の組織づくりを進め、財政と組織両面の自主性・自立性を高めます。
- (4) 公益財団法人への移行  
公益財団法人への移行を目指し、その手続きを円滑に進めます。

### 3 経営目標

経営改善を具体的に推進するため、次の目標を設定して取組みます。

- (1) 先駆的、広域的な事業の実施
- (2) 情報発信の促進
- (3) 専門性の向上と効率的な組織運営
- (4) 自主財源の確保と経費節減
- (5) 公益財団法人への移行

### 4 具体的な方策

#### (1) 先駆的、広域的な事業の実施

男女共同参画に関する理解の促進及び啓発等の事業について先駆的な取組みを進めるとともに、これまでに育成してきた人材、ネットワークを活用し、県内の男女共同参画に関する活動の支援や様々な団体との協働による広域的な展開を図ります。

#### ○ 取組項目

- ア あいち国際女性映画祭の開催を通して、男女共同参画意識の普及啓発に、より一層努めます。
- イ 「あいち男女共同参画プラン2011－2015」に基づく事業を実施することで、男女共同参画社会の実現に向けた取組みを行います。
- ウ 男女の社会参画を促進する先駆的・広域的な講座・セミナーを実施します。
- エ 女性団体、NPO、市町村等との「協働」や「ネットワーク」による事業展開の拡充を図ります。

## ○ 数値目標

年 度	21 実績	23 目標	24 目標	25 目標	26 目標	27 目標
あいち国際女性映画祭入場者数（人）	12,272	12,600	12,700	12,800	12,900	13,000
県内市町村審議会等における女性委員登用率（%）	23.8	24.3	25	27	28	30
主催講座の効果度（%）	—	60	60	65	65	70
男性の参画を促進する事業実施数（件）	1	3	3	4	5	5
共催・協働事業実施数（件）	24	26	27	28	29	30

## （2）情報発信の促進

ウィルあいちの指定管理者の一員として、引き続き情報ライブラリーの運営や情報提供事業を実施し、男女共同参画社会実現のための情報の収集及び提供を行います。

## ○ 取組項目

- ア これまでに積み重ねてきた実績や女性団体等との協働関係を生かして、男女共同参画推進に役立つ資料の収集提供や企画展示の充実を図ります。
- イ インターネットの活用、市町村等との連携による情報発信の充実を図ります。

## ○ 数値目標

年 度	21 実績	23 目標	24 目標	25 目標	26 目標	27 目標
情報ライブラリー利用者数（人）	108,307	114,000	115,000	116,000	117,000	118,000
情報ライブラリー図書貸出数（冊）	23,467	24,000	24,000	24,500	24,500	25,000

### (3) 専門性の向上と効率的な組織運営

先駆的、効果的な事業を実施できる専門性の高い組織づくりと効率的な運営を進めます。

#### ○ 取組項目

ア 業務遂行能力及び情報受発信能力を高めるため、職員を外部研修へ積極的に派遣します。

イ 県派遣職員の引揚げを進め、固有職員を採用することにより、専門性の蓄積と業務の継続性、組織の自主性・自立性の向上を図ります。

ウ 多様な人材を機動的に確保できる雇用システムの検討を進め、組織の専門性、効率性を高めます。

エ 事業規模に応じた組織の弾力化を検討します。

#### ○ 数値目標

年 度	21 実績	23 目標	24 目標	25 目標	26 目標	27 目標
固有職員数 (人)	5	6	8	8	8	8
県派遣職員数 (人)	7	3	0	0	0	0

### (4) 自主財源の確保と経費節減

収入の確保及び支出の削減により経営の効率性、自立性を高めるよう努めます。

#### ○ 取組項目

ア 社会的なニーズを反映した効果的な事業展開を図り、受講料、助成金などの事業収入の確保に努めます。

イ 自主財源の増加を図るため、賛助会員制度等の導入に向けて検討を行います。

ウ 職員のコスト意識を徹底させ、経費節減を一層進めます。

エ 財団の運営状況、事業内容に応じた人事及び給与制度を導入します。

#### ○ 数値目標

年 度	21 実績	23 目標	24 目標	25 目標	26 目標	27 目標
財団自主事業費 に占める事業収入 割合 (%)	20	20	21	21	22	22

(5) 公益財団法人への移行

公益財団法人への平成24年度移行を目指し、移行事務を円滑に進めます。

○ 取組項目

- ア 公益法人会計基準(平成20年改正基準)を適用した会計処理へ移行準備を行います。
- イ フィットネス事業について、男女共同参画との合目的性や公益性を含めて、そのあり方について検討を行います。